

船リール系巻学習方法

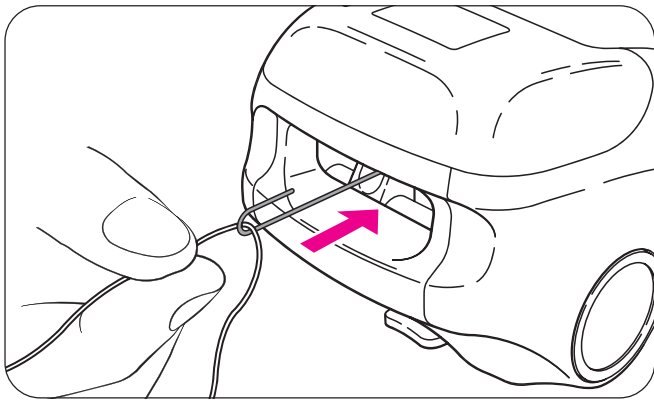
商品コード	年式	品番	写真
RF343000	1998年	300	
RF345000	1998年	500	

学習方法（ラインデータを呼び出して選択し、設定します。）

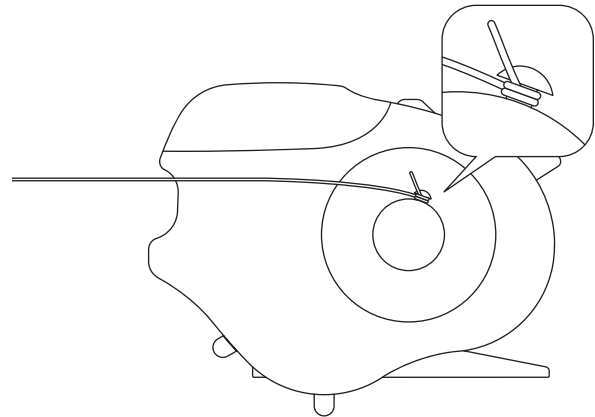
最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、あらかじめマイコンに記憶させてあるスプール回転と糸巻量の関係を選択するしくみになっています。操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

1 糸をセットします。



1 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。



2 スプールピンに糸を結びます。

学習方法（ラインデータを呼び出して選択し、設定します。）

2 糸を巻き、種類と長さを設定します。

このリールには使用する糸（新素材デュラPE、ナイロン）と、スプール回転からの水深実測データが事前にインプットされています。（SLS II）

使用する糸の号数は、右の表のものを使用してください。それ以外の糸の場合、カウンターの数値はあくまで目安になります。

実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。（500～800gのテンションを目安にします。）

糸を巻いた後、リールのコンピュータに何を何メートル巻いたかを設定することが必要です。

※カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。

300番	500番
デュラPE 3号 100m	デュラPE 5号 100m
デュラPE 2号 100m (スプールライン)	デュラPE 4号 100m (スプールライン)
デュラPE 2号 150m	デュラPE 4号 150m
デュラPE 2.5号 120m	デュラPE 3号 180m
ナイロン 3号 120m	ナイロン 5号 130m
ナイロン 4号 100m	ナイロン 6号 100m

注意：

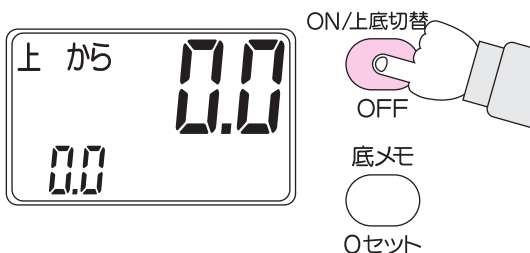
300番のデュラPE 2号 100m、500番のデュラPE 4号 100m はスプールラインまで下巻する必要があります。上記以外の糸の場合カウンターの数値はあくまで目安になります。

他社PE及びナイロン糸使用の場合、誤差が3%を超えて生じる場合があります。

1 ON/上底切替ボタンを押します。

液晶画面は下のようになります。

※OFFする場合はこのボタンを3秒以上押し続けてください。また、30分以上リールを動かさなければ自動的にOFFになります。



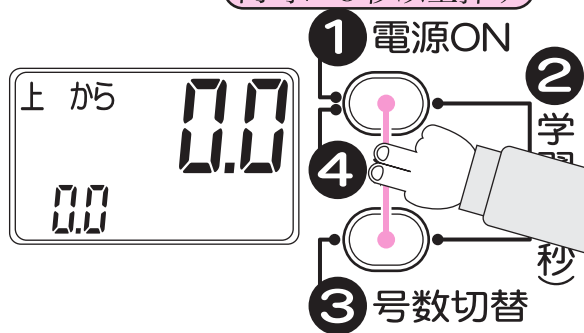
2 付属のプログラムプレートをあてます。

（これを使用すれば確実な操作が可能ですが、なくても設定できます。）



3 終了と号数切替ボタンの2個を同時に5秒以上押します。

同時に5秒以上押す



すると液晶画面は下図のようになります。

300番の場合



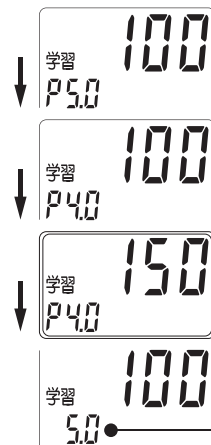
デュラPE3号を100m巻いたことを示します。

500番の場合…

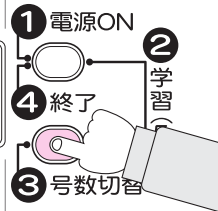


デュラPE5号を100m巻いたことを示します。

4 号数切替ボタンを押すと巻く糸とその長さが表の順で切り替わって表示されます。リールに巻かれた糸とその長さに合わせて下さい。



押すたびに切り替わる



ナイロン糸の場合このような表示となります。

5 その後、終了ボタンを押してください。「学習OK」が表示されて終了です。液晶画面は自動的にもとに戻ります。

